必要なパッケージー覧は以下を参照してください。 https://exastro-suite.github.io/it-automation-docs/asset/Learn ja/ITA-online-install ja.pdf 3.11 環境構築(7/7)のライブラリ概要<Mariadb、httpd、Ansible>以外に含まれているもの

※ 設定・備考にあるパージョン(xxx)は、インストールするITAパージョンに読み替えてください。 また、(ITAインストール先ディレクトリ名)、(外部ストレージサーパのIPアドレス)、(Ansibleサーバのホスト名)などの文字はインストールする環境に合わせて適宜読み替えてください。

			E	目的			
		曹			¥		
No.	目的	共通 構築資材管理	メニュー作 ドストグル-	Ansible	Cobbler OpenStack	設定	備考
	ITAインストール資材展開	<u> </u>	1 1 1 1 1 1				<u> </u>
1	ITAのインストール資材を展開する					インストール資材展開先にITA資材vx.x.x.tar.gzを配置してください。 cd /(<mark>インストール資材展開先</mark>) ls -l vx.x.x.tar.gz	インストール資材の展開先は、どのディレクトリでも問題ありません。 オンラインの場合は以下のコマンドで取得してください。 wget https://github.com/exastro-suite/it-automation/archive/vx.x.x.tar.g.
2						ITAインストール資材を展開してください。 tar -zxf vx.x.x.tar.gz	
3						シェルの権限変更をします。 find it-automation-x.x.x -type f -name *.sh xargs chmod 755	
4						ITAインストールディレクトリを設定します。 find it-automation-x.x.x -type f xargs -I[] sed -i -e "s:%%%%ITA_DIRECTORY%%%%./ (ITAインストール先ディレクトリ):g" {]	
	yum-utilsインストール						
5	【CentOS7、RHEL7の場合】 yum-utilsをインストールする					以下のパッケージをインストールしてください。 yum-utils	オンラインの場合は以下のコマンドでインストールしてください。 yum install -y yum-utils
	PHPインストール		-				
6	PHPをインストールする					以下のパッケージをインストールしてください。 php php-bcmath php-cli php-ldap php-mbstring php-mysqlnd php-pear php-pecl-zip php-process php-snmp php-xml zip telnet mailx unzip php-json php-zip php-gd python3	オンラインの場合は以下のコマンドでリポジトリを有効にしてください。 【CentOS7、RHEL7の場合】 yum install -y http://rpms.remirepo.net/enterprise/remi-release-7.rpm
							yum-config-managerenable remi-php72 【CentOS8、RHEL8の場合】
							リポジトリは追加しません。 オンラインの場合は以下のコマンドでインストールしてください。 yum install -y php php-bcmath php-cli php-ldap php-mbstring php- mysqlnd php-pear php-pecl-zip php-process php-snmp php-xml zip telne mailx unzip php-json php-zip php-gd python3
7	PEARライブラリをインストールする	•				以下のPEARパッケージをインストールしてください。 HTML_AJAX-beta	オンラインの場合は以下のコマンドでインストールしてください。 pear install HTML_AJAX-beta
8	HTML_AJAX-betaの設定を行う	•				In -s /usr/share/pear-data/HTML_AJAX/js /usr/share/pear/HTML/js	
9	Spycをインストールする	•				mkdir -p /usr/share/php/spyc-master	
10						Spycパッケージを /usr/share/php/spyc-masterディレクトリにインストールしてください。	オンラインの場合は以下のコマンドでインストールしてください。 curl -L https://github.com/mustangostang/spyc/archive/0.6.2.tar.gz tar zxstrip-components=1 -C /usr/share/php/spyc-master
11	PhpSpreadsheetをインストールする	•				以下のディレクトリを作成してください。 mkdir -p /usr/share/php/vendor	
12						PhpSpreadsheetパッケージを/usr/share/php/vendorディレクトリにインストールしてください。	オンラインの場合は以下のコマンドでインストールしてください。 curl -sS https://getcomposer.org/installer phpinstall-dir=/usr/bin
							/usr/bin/composer.phar require "phpoffice/phpspreadsheet":"*"
							mv vendor /usr/share/php/
	PHPの設定					on an /(ハフトール 姿計屋間生) /t-outomotion www/th install angles / out flag for OutOC7 / /th //th ini / /th /	
	【CentOS7、RHEL7の場合】 php.iniを設定する					cp -p /(インストール資材展開先)/it-automation-x.x.x/ita_install_package/ext_files_for_CentOS7.x/etc/php.ini /etc/	
14	【CentOS8、RHEL8の場合】 php.iniを設定する	•				cp -p /(インストール資材展開先)/it-automation-x.x.x/ita_install_package/ext_files_for_CentOS8.x/etc/php.ini /etc/	
15	【CentOS8、RHEL8の場合】 www.confを設定する	•				cp -p /(インストール資材展開先)/it-automation-x.x.x/ita_install_package/ext_files_for_CentOS8.x/etc_php-fpm.d/www.conf /etc/php-fpm.d/	

			目的			
	S TH	作成	ر ا ا	숙		
No. 目的	大通 共通 #\$\$\$\$\$\$\$	1 4 4 1 4 1 4 1 4 1 4 1 4 1 4 1 4 1 4 1	グル nsible	enStack	設定	備考
	# 8%	# \frac{1}{1}	4 4 5			
 ITAインストール		·	K		<u> </u>	
16 インストール先ディレクトリ作成					mkdir -p / (ITAインストール先ディレクトリ)	
17 共有用ディレクトリの作成	•				以下の外部ストレージとの共有用ディレクトリを作成してください。	
					/(ITAインストール先ディレクトリ)/data_relay_storage /(ITAインストール先ディレクトリ)/ita-root/temp	
					/(ITAインストール先ディレクトリ)/ita-root/uploadfiles	
					/ (ITAインストール先ディレクトリ) /ita-root/webroot/uploadfiles / (ITAインストール先ディレクトリ) /ita-root/webroot/menus/sheets	
					/ (ITAインストール先ディレクトリ) /ita-root/webroot/menus/users / (ITAインストール先ディレクトリ) /ita-root/webconfs/sheets	
					/(ITAインストール先ディレクトリ) /ita-root/webconfs/users	
18 共有ディレクトリを設定する		+			以下の様に外部ストレージの共有ディレクトリとの共有設定を行ってください。	
					backyardサーバの共有ディレクトリ 外部ストレージの共有ディレクトリ	
					/(ITAインストール先ディレクトリ)/data_relay_storage /(任意の共有用ディレクトリ)/data_relay_storage	
					/(ITAインストール先ディレクトリ)/ita-root/temp /(任意の共有用ディレクトリ)/ita-root/temp	
					/(ITAインストール先ディレクトリ)/ita-root/uploadfiles /(任意の共有用ディレクトリ)/ita-root/uploadfiles	
					/(ITAインストール先ディレクトリ)/ita-root/webroot/uploadfiles /(任意の共有用ディレクトリ)/ita-root/webroot/uploadfiles	
					/(ITAインストール先ディレクトリ)/ita-root/webroot/menus/sheets /(任意の共有用ディレクトリ)/ita-root/webroot/menus/sheets	
					/(ITAインストール先ディレクトリ)/ita-root/webroot/menus/users /(任意の共有用ディレクトリ)/ita-root/webroot/menus/users	
					/(ITAインストール先ディレクトリ)/ita-root/webconfs/sheets /(任意の共有用ディレクトリ)/ita-root/webconfs/sheets	
					/ (ITAインストール先ディレクトリ) / ita-root/webconfs/users // (任意の共有用ディレクトリ) / ita-root/webconfs/users	
19 ITA資材配置	•	++	+	++	cp -rp /(インストール資材展開先)/it-automation-x.x.x/ita_install_package/ITA/ita-contents/ita-root /(ITAインストール先ディレクトリ)	
20 ITA設定ファイル配置		++	+	++	/. cp -rp /(インストール資材展開先)/it-automation-x.x.x/ita_install_package/ITA/ita-confs /(ITAインストール先ディレクトリ)/ita-	
21 ITAで使用するディレクトリ作成		+		++	root/confs //(インストール資材展開先)/it-automation-x.x.x/ita_install_package/install_scripts/list/create_dir_list.txtのファイルに記載しているパス	
					に対して、先頭に/(ITAインストール先ディレクトリ)をつけて一行ずつディレクトリを作成してください。	
					mkdir -p / (ITAインストール先ディレクトリ) (ファイルに記載しているパス)	
22 権限を変更する(755)	•			11	/(インストール資材展開先)/it-automation-x.x.x/ita_install_package/install_scripts/list/755_list.txtのファイルに記載しているパスに対して、先頭に/(ITAインストール先ディレクトリ)をつけて一行ずつ権限を変更してください。	
					chmod 755 / (ITAインストール先ディレクトリ) (ファイルに記載しているパス)	
23 権限を変更する(777)	•				/(インストール資材展開先)/it-automation-x.x.x/ita_install_package/install_scripts/list/777_list.txtのファイルに記載しているパスに対して、先頭に/(ITAインストール先ディレクトリ)をつけて一行ずつ権限を変更してください。	
					chmod 777 /(ITAインストール先ディレクトリ)(ファイルに記載しているパス)	
24 ita baseのリリースファイルを配置する		+	\perp	++	cp -p /(インストール資材展開先)/it-automation-x.x.x/ita_install_package/ITA/ita-releasefiles/ita_base /(ITAインストール先ディレクト	
					//)/ita-root/libs/release/.	
25 materialのリリースファイルを配置する	1				cp -p / (インストール資材展開先) /it-automation-x.x.x/ita_install_package/ITA/ita-releasefiles/ita_material / (ITAインストール先ディレクトリ) /ita-root/libs/release/.	
26 material (資材紐付け管理(Ansible)) のリリースファイルを配置する	 		•	++	cp ¬p / (インストール資材展開先) /it-automation-x.x.x/ita_install_package/ITA/ita-releasefiles/ita_material2 / (ITAインストール先ディレ	
※materialとansible_driverをインストールする場合に実行してください。27 material(資材紐付け管理(OpenStack))のリリースファイルを配置する		Ð	+	•	クトリ)/ita-root/libs/release/. cp -p / (インストール資材展開先) /it-automation-x.x.x/ita_install_package/ITA/ita-releasefiles/ita_material3 / (ITAインストール先ディレ	
※materialとopenstack_driverをインストールする場合に実行してください。		\square	\perp	44.	クトリ)/ita-root/libs/release/. D cp -p /(インストール資材展開先)/it-automation-x.x.x/ita_install_package/ITA/ita-releasefiles/ita_material5 / (ITAインストール先ディレ	
28 material (資材紐付け管理(DSC)) のリリースファイルを配置する ※materialとdsc_driverをインストールする場合に実行してください。		<u> </u>		`	クトリ)/ita-root/libs/release/.	
29 createparamのリリースファイルを配置する		•			cp -p / (インストール資材展開先)/it-automation-x.x.x/ita_install_package/ITA/ita-releasefiles/ita_createparam / (ITAインストール先 ディレクトリ)/ita-root/libs/release/.	
30 hostgroupのリリースファイルを配置する		+	•	++	cp -p /(インストール資材展開先)/it-automation-x.x.x/ita_install_package/ITA/ita-releasefiles/ita_hostgroup /(ITAインストール先ディレクトリ)/ita-root/libs/release/.	
31 hostgroup(ホストグループ変数化)のリリースファイルを配置する		+	• •	++	cp -p / (インストール資材展開先)/it-automation-x.x.x/ita_install_package/ITA/ita-releasefiles/ita_hostgroup2 / (ITAインストール先ディ	
※hostgroupとAnsible_driverをインストールする場合に実行してください。					レクトリ) /ita-root/libs/release/. cp -p / (インストール資材展開先) /it-automation-x.x.x/ita install package/ITA/ita-releasefiles/ita hostgroup3 / (ITAインストール先ディ	
		_			レクトリ)/ita-root/libs/release/.	

			目的				
No. 目的	無 計	構築資材管理 メニュー作成	ホストグループ Ansible	Cobbler	OpenStack	設定	備考
32 ansible_driverのリリースファイルを配置する			1	•		cp ¬p /(インストール資材展開先)/it-automation¬x.x.x/ita_install_package/ITA/ita-releasefiles/ita_ansible-driver / (ITAインストール先ディレクトリ)/ita-root/libs/release/.	
33 cobbler_driverのリリースファイルを配置する	$\dagger \dagger$			•		cp -p /(インストール資材展開先)/it-automation-x.x.x/ita_install_package/ITA/ita-releasefiles/ita_cobbler-driver /(ITAインストール先ディレクトリ)/ita-root/libs/release/.	
34 openstack_driverのリリースファイルを配置する					•	cp -p /(インストール資材展開先)/it-automation-x.x.x/ita_install_package/ITA/ita-releasefiles/ita_openstack-driver / (ITAインストール 先ディレクトリ)/ita-root/libs/release/.	
35 dsc_driverのリリースファイルを配置する	\Box				11	e cp -p /(インストール資材展開先)/it-automation-x.x.x/ita_install_package/ITA/ita-releasefiles/ita_dsc-driver / (ITAインストール先ディレクトリ)/ita-root/libs/release/.	
36 MariaDB接続情報設定	•					①以下の文字列をbase64エンコード、rot13暗号を行った文字列を作成してください。 mysql:dbname=(ITAのDB名);host=(DBMSサーバのIPアドレス) ②作成した文字列を以下のファイルに書き込んでください。※記載済みの値は削除してください /(ITAインストール先ディレクトリ)/ita-root/confs/commonconfs/db connection string.txt	例: ITAのDB名が「ITA_DB」、DBMSサーバのIPアドレスが1.1.1.1の場合、以下のコマンドでbase64エンコード、rot13暗号を行った文字列を取得できます。echo -ne "mysql:dbname=ITA_DB;host=1.1.1.1" base64 tr '[A-Za-z]' '「N-ZA-Mn-za-m'
37 MariaDBのユーザ情報設定	•					①MariaDBのユーザ名をbase64エンコード、rot13暗号を行った文字列を作成してください。 ②作成した文字列を以下のファイルに書き込んでください。※記載済みの値は削除してください /(ITAインストール先ディレクトリ)/ita-root/confs/commonconfs/db_username.txt	例: MariaDBのユーザ名が「ITA_USER」の場合、以下のコマンドでbase64エンコード、rot13暗号を行った文字列を取得できます。 echo -ne "ITA_USER" base64 tr '[A-Za-z]' '[N-ZA-Mn-za-m]'
38 MariaDBのパスワード情報設定	•					①MariaDBのパスワードをbase64エンコード、rot13暗号を行った文字列を作成してください。 ②作成した文字列を以下のファイルに書き込んでください。※記載済みの値は削除してください /(ITAインストール先ディレクトリ)/ita-root/confs/commonconfs/db_password.txt	例: MariaDBのパスワードが「ITA_PASSWD」の場合、以下のコマンドでbase64エンコード、rot13暗号を行った文字列を取得できます。 echo -ne "ITA_PASSWD" base64 tr '[A-Za-z]' '[N-ZA-Mn-za-m]'
ITAのbackyard設定							
39 backyardの設定ファイルのリンクを作成する						In -s / (ITAインストール先ディレクトリ) /ita-root/confs/backyardconfs/ita_env /etc/sysconfig/ita_env	
ita_baseのbackyard処理のサービスファイルをコピーする	•					cp -p /(ITAインストール先ディレクトリ)/ita-root/backyards/ita_base/*.service /usr/lib/systemd/system/. cp -p /(ITAインストール先ディレクトリ)/ita-root/backyards/webdbcore/*.service /usr/lib/systemd/system/.	
41 materialのbackyard処理のサービスファイルをコピーする		•				cp ¬p /(ITAインストール先ディレクトリ)/ita-root/backyards/material/ky_material_management.service /usr/lib/systemd/system/.	
42 material (資材紐付け管理(Ansible)) のbackyard処理のサービスファイルをコピーする ※materialとansible_driverをインストールする場合に実行してください。	$\dagger \dagger$	•	•			cp ¬p /(ITAインストール先ディレクトリ)/ita-root/backyards/material/ky_material_linkage_ansible.service /usr/lib/systemd/system/.	
### material (資材紐付け管理(OpenStack)) のbackyard処理のサービスファイルをコピーする ※material とopenstack_driverをインストールする場合に実行してください。		•			•	cp -p / (ITAインストール先ディレクトリ) /ita-root/backyards/material/ky_material_linkage_openstack.service /usr/lib/systemd/system/.	
material (資材紐付け管理(DSC)) のbackyard処理のサービスファイルをコピーする ※materialとdsc_driverをインストールする場合に実行してください。		•				© cp -p / (ITAインストール先ディレクトリ) /ita-root/backyards/material/ky_material_linkage_dsc.service /usr/lib/systemd/system/.	
45 createparamのbackyard処理のサービスファイルをコピーする		•				cp -p /(ITAインストール先ディレクトリ)/ita-root/backyards/create_param_menu/*.service /usr/lib/systemd/system/.	
46 hostgroupのbackyard処理のサービスファイルをコピーする			•			cp -p /(ITAインストール先ディレクトリ)/ita-root/backyards/hostgroup/ky_hostgroup_split.service /usr/lib/systemd/system/.cp -p /(ITAインストール先ディレクトリ)/ita-root/backyards/hostgroup/ky_hostgroup_check_loop.service /usr/lib/systemd/system/.	
hostgroup(ホストグループ変数化)のbackyard処理のサービスファイルをコピーする ※hostgroupとAnsible_driverをインストールする場合に実行してください。			•			cp ¬p /(ITAインストール先ディレクトリ)/ita-root/backyards/hostgroup/ky_hostgroup_make_var.service /usr/lib/systemd/system/. cp ¬p /(ITAインストール先ディレクトリ)/ita-root/backyards/hostgroup/ky_hostgroup_regist_var_legacy.service /usr/lib/systemd/system/. cp ¬p /(ITAインストール先ディレクトリ)/ita-root/backyards/hostgroup/ky_hostgroup_regist_var_legacy_role.service /usr/lib/systemd/system/.	
48 ansible_driverのbackyard処理のサービスファイルをコピーする			•		$\dag \uparrow$	cp -p /(ITAインストール先ディレクトリ)/ita-root/backyards/ansible_driver/*.service /usr/lib/systemd/system/.	
49 cobbler_driverのbackyard処理のサービスファイルをコピーする				•	\sqcap	cp -p /(ITAインストール先ディレクトリ)/ita-root/backyards/cobbler_driver/*.service /usr/lib/systemd/system/.	
50 openstack_driverのbackyard処理のサービスファイルをコピーする					•	cp -p / (ITAインストール先ディレクトリ) /ita-root/backyards/openstack_driver/*.service /usr/lib/systemd/system/.	
51 dsc_driverのbackyard処理のサービスファイルをコピーする	$\dagger \dagger$		$\dagger \dagger$	\top		© cp −p / (ITAインストール先ディレクトリ) /ita-root/backyards/dsc_driver/*.service /usr/lib/systemd/system/.	
52 サービスの常駐設定を行う	•	+	\vdash		$\dagger \dagger$	ls -1 /usr/lib/systemd/system/. grep ky_ xargs systemctl enable	
53 サービスの起動を行う	•		\vdash	\top	$\dagger \dagger$	Is -1 /usr/lib/systemd/system/. grep ky_ xargs systemctl start	

No.	目的	+ 通	設定	備考
ITAのcron設定 54 cron設定を行う			crontab -e 以下内容を追記してください。 01 00 * * * suc / (ITAインストール先ディレクトリ) / ita-root/backyards/common/ky_execinstance_dataautoclean-workflow.sh' 02 00 * * * suc / (ITAインストール先ディレクトリ) / ita-root/backyards/common/ky_file_autoclean-workflow.sh'	
hostsの設定 55 /etc/hostsの設定			vi /etc/hosts 以下を追記してください。(連携ドライバサーバの記載については、使用するサーバのもののみを追記してください) 127.0.0.1 (backyardサーバのホスト名) (AnsibleサーバのIPアドレス) (Ansibleサーバのホスト名) (AnsibleTowerサーバのIPアドレス) (AnsibleTowerサーバのホスト名) (CobblerサーバのIPアドレス) (Cobblerサーバのホスト名)	
Gitインストール 56 Gitをインストールする			以下のパッケージをインストールしてください。 git	オンラインの場合は以下のコマンドでインストールしてください。 yum install -y git